



岐阜工業高等専門学校
建築学科
専任講師
藤田大輔氏

行動と意識を探り、空間を演出



まちは個性があるほうがいい

学生の頃から様々な場所を旅行し、建築やまちを観ました。そこで気づいたことは、日本各地で「どこか東京に似ている」まちが至るところにあることです。まちは文化的特徴や人々の思いが形になって、もっと個人的である方が魅力的だと私は思うのです。そこで、人々のまちに対する思いを探っていけば、そのまちの魅力を盛り込んだ



まちの営みを感じ評価する

空間が実現できるのではないかと考えました。まちにある様々なものに対して人々に評価をもらう研究を進めています。方法は、被験者に対象となる地域を歩いてもらいながら、そこで良いと思った場所、悪いと思った場所について写真を撮影してもらい、その理由



岐阜市近郊の研究者を中心に連携できる内容を紹介し、企業との橋渡しを目指しています。

について記述してもらった。昨年度は岐阜市中心部の玉宮町で調査を実施しました。そこで得られた好ましい評価は、新しい建物と古い建物の調和、道路まで飲食スペースがはみ出した開放的な居酒屋、その店を象徴するような特徴的なディスプレイ、前面空地や半地下などの曖昧な領域、植栽などが挙げられます。好ましくない評価は、隣接する建物を取り壊されて露わになってしまった壁面、ガランとした雰囲気、駐車場の電線下の鳥のフンなどが挙げられます。今後は岐阜市にある他のエリアと比較することで、それぞれの場所の魅力を引き出すための方策を考えていきます。

この他、服飾店の外観とインテリアについて写真を用いた評価実験も実施

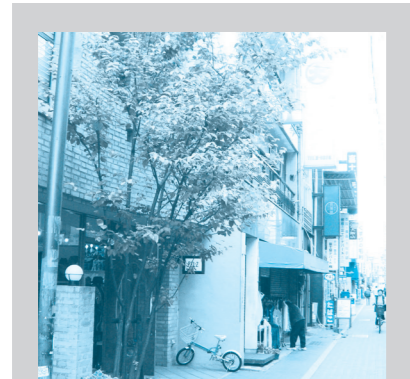


通りに面してカウンターがあり店がキレイなので、ここで飲んでみたいと思った。飲んでいて人がいたら、通りの雰囲気もよくなる。(20代・男性)



オーダーメイドで対応できます

私の研究手法全般に言えますが、人々の行動と意識評価を丹念に探り、その上でどのような空間があれば特徴のあるまち並みが実現できるのかについて考えています。また研究の手法は、経営者やまちの人々が知りたい内容に応じることができません。ご相談いただければ、可能な限りお手伝いしたいと考えています。



緑が少なく、たまに植木鉢が置いてあるくらいであったが、うまく植物を使っている場所もあり、いいと思った。(20代・男性)

取材

岐阜市役所商工観光部
産業振興課 新産業G
TEL: 058-265-4141 (代)
内線 6253



岐阜工業高等専門学校

建築学科
E-mail: fdai@gifu-nct.ac.jp
TEL: 058-320-1211 (代表)

ふじた だいすけ
東海大学大学院工学研究科建築学専攻修士。2000年より岐阜高専に着任。2005年より現職。修士(工学)趣味はフリークライミング、釣り、家庭菜園など。一番好きな時間の過ごし方は、まったりと屋外でのクライミングを楽しむこと。東京都生まれ、千葉県育ち。